国立大学等の保有する施設等

教育研究棟、研究所、図書館、附属病院、附属学校、食堂・保育施設など福利厚生施設、体育館など様々な施設、及び、広場や街路等を保有しています。

施設系技術職員は
これらの施設等の
企画・設計・工事監理・
維持管理など
全てに関わります

・国立大学法人等の建物の保有面積は，約2800万㎡であり、
東京ドーム約600個分，東京ディズニーランド約35個分にあたります。
・施設整備にかかる年間の予算規模は数千億円、維持管理費は数百億円に上ります。

先輩職員の声

大阪大学施設部　建築計画係員
小谷さん（H26年度採用）

私は建築分野を担当しています。予算の要求から設計、積算、現場監理、竣工1年後の点検まで、業務内容は大変幅広いです。分野が細分化された建築業界で、ものづくりの最初から最後まで携われます。また多くの女性職員も活躍しており、一生の仕事として働ける環境が魅力だと思います。

大阪大学附属病院管理課
機械係員
水島さん（H25年度採用）

附属病院の機械設備に関する業務を担当しています。院内における工事は、維持管理や改修工事と様々です。自分が行う業務によって医療現場の環境が改善されることに、使命感と責任感を感じています。また、医療関係者や患者との距離が近く、完成後も使用されている実態を直に見られることにやりがいを感じます。

施設系技術職員の採用について

試験区分	
事務系	事務
	図書
技術系	電気
	機械
	土木
	建築
	化学
	物理
	電子・情報
	資源工学
	農学
	林学
	生物・生命科学

施設系技術職員の主な試験区分

国立大学法人等職員統一採用試験

職員の採用方法は国立大学法人等が合同で実施する試験を通じて採用を行っています。
（H27年度は、受付 7/1～7/15、一次試験 8/23に実施）
試験は，各地区別で行っています。
詳しくは，各地区採用試験事務室ホームページをご覧いただくか，下記へ電話，メール等でお問い合わせください。

各地区	電話	メール
北海道地区実施委員会	011-706-2019	saiyo@general.hokudai.ac.jp
東北地区実施委員会	022-217-5676	shiken@grp.tohoku.ac.jp
関東甲信越地区実施委員会	03-5841-2769	shikenjimu@adm.u-tokyo.ac.jp
東海・北陸地区実施委員会	052-788-6053	shikenjimu@adm.nagoya-u.ac.jp
近畿地区実施委員会	075-753-2230	shiken@mail.adm.kyoto-u.ac.jp
中国・四国実施委員会	082-424-5616	shikenjimu@office.hiroshima-u.ac.jp
九州地区事務・技術系職員等人事委員会	092-802-2340	shikenjimu@jimu.kyushu-u.ac.jp

※各国立大学法人等での具体的な職務内容などについては、各法人等の施設担当部課へお問い合わせください。

国立大学法人等のキャンパスを創造する
施設系技術職員

国立大学法人等とは

文部科学省所管の国立大学法人，大学共同利用機関法人，独立行政法人国立高等専門学校機構　等

国立大学法人

•全国に８６ある国立大学が，それぞれ独立した法人格を持って運営されています。

大学共同利用機関法人

•先端的な共同研究を行う中核的研究拠点として，人間文化研究機構，自然科学研究機構，高エネルギー加速器研究機構，情報・システム研究機構の４つの機構が設置されています。

独立行政法人国立高等専門学校機構　等

•独立行政法人国立高等専門学校機構は，全国に５１ある国立の高等専門学校で構成されています。その他，２２の機構が学校教育，社会教育，科学技術等の事業を実施しています。

施設系 技術職員は

国立大学法人等の様々な施設（校舎、研究実験棟、病院、図書館、体育館など）やインフラの**企画、設計、工事、維持管理など 全般に関わります。**

国立大学等施設担当部課長会（H27年度）

イノベーション創出、グローバル人材の育成を担う「知の拠点」をつくり・まもる

～キャンパスづくりから施設整備・マネジメントの実施まで～

キャンパスづくりの在り方とは※

- 既存キャンパスの長所を生かしていくことを前提に，知恵とアイデアを集め，大学の機能強化や個性・特色の伸長につながるキャンパスに再生するとした「創造的再生」がキャンパスづくりの基本的考え方として示されています。

※「キャンパスの創造的再生～社会に開かれた個性輝く大学キャンパスを目指して～」報告書（概要）より
文部科学省　平成２５年３月 国立大学等のキャンパス整備の在り方に関する検討会

施設マネジメントの実施

- 「施設マネジメント」とは，管理する施設・設備について、総合的かつ長期的視点に立ち，教育研究を支援するための取り組みです。近年は、建物の長寿命化の計画策定や、スペースの有効活用に関する取り組みが重要となっています。

京都大学　iPS細胞研究所

～施設系業務の三本柱～

企画・計画，設計・監理

- キャンパスの長期計画の策定
- キャンパス整備に関する各種委員会等の運営
- 施設整備事業の計画・設計・実施
- 都市計画，キャンパス計画に係る地域との連携
- 工事の入札・契約の実施
- 工事コスト，品質等の管理
- 建築・土木・設備に関する技術的事項への対応　等

維持管理等

- 施設の点検・評価及び資産価値の維持・向上
- スペースの有効活用
- 長期修繕実施計画の策定
- 施設の保守点検・運転監視・修繕
- 屋外空間や緑地の管理等に関する技術的事項への対応
- 施設・環境・インフラ維持保全・美化の実施
- 宿舎施設の管理運営　等

省エネ，環境・安全

- 温暖化・省エネルギー対策の実施
- インフラ整備の企画立案
- 交通対策，屋外環境整備及び廃棄物処理の実施
- 環境安全衛生管理活動の企画立案・把握・指導等
- 防火・防災に関すること等

※業務範囲は、各国立大学法人等で異なる場合があります

～様々な施設の、長期計画から維持管理 までを行います～

長期計画
- キャンパスマスタープランの策定
- 中期目標・中期計画の策定
- アクションプラン，マニュアルの策定

計画
- 現地調査、ユーザーヒアリング
- 関係官庁との協議・調整
- 基本計画の作成

設計
- 基本設計書の作成
- 実施設計
- 設計コンサルタントとの調整

工事監理
- 工程，安全，品質管理
- 定例会議の開催
- 各種検査の立会

完成
- 完成検査
- ユーザー満足度調査
- 省エネ等の達成目標調査

維持管理
- 定期点検・定期報告
- 予防保全計画の作成
- 修繕計画の作成，実施

キャンパス・施設の企画から完成までは数年。
完成後は，機能的で良好な状態に維持向上させていくことが
施設系技術職員のミッションです。

キャリアパス，資格，研修

職員の取得資格，能力，勤務評価等により上位ポストに昇進していきます。
職名，職階は各法人で異なります。

係員 → 主任 → 係長 → 課長補佐 → 課長 → 部長 → 理事等

取得資格

- 建築士
- 技術士
- 電気主任技術者
- 建築設備士
- エネルギー管理士
- 施工管理技士　など

研修制度

- 新規職員研修
- 係長研修
- 中堅職員研修
- 幹部職員研修
- 技術職員研修
- 語学研修、会計研修など

採用後に，諸事情によって他の国立大学法人等に異動を希望する方については，
法人間で調整を図る仕組みがあります。